

令和2年度 天来記念館協議会 書面会議による意見

委員意見： 書店でも参考書入手が困難な面があり書籍だけでも望月天来記念館に行かなくても求められないか。出来れば用具もどうか。

事務局回答：天来記念館に置いてある書籍や用具の販売方法については、在庫がある物はその場でお渡しし、無い物はお取り寄せするという形で今までで行って参りました。こういうご意見ご希望があることを踏まえて、より良い方法を検討していきたいと思っております。ありがとうございます。

委員意見： 臨書展の実施にあたり職員の皆様が大変な御苦勞をされております様子を長い年月見てまいりましたが、一考を要するよう思っています。

事務局回答：佐久全国臨書臨展の開催に当たっては、天来先生のふるさと・佐久を全国に知ってもらうため、また、佐久市が「書のまち」になる事を願い、市と連携を図りながら実行委員会において全力で取り組んでおります。昨年度は近代美術館が改修工事のため、駒の里ふれあいセンター・望月支所・当館が展示会場として実施されました。協議委員の皆様をはじめ、地元の皆様、たくさんの方々のご理解と協力にこの場をお借りして感謝申し上げます。大きな事業ですので、改善すべき点も多く、改めていくことも大事だと考えます。貴重なご意見ありがとうございます。

委員意見： 佐久市内の学生書き初め展、地元高校作品展等は、家族、友人等多くの観覧があり素晴らしい企画です。色紙展もよかったです。

事務局回答：書道がより身近なもの、生活の中に自然にあるものとなるように始められた書き初め展も今年度は11回、地元高校生書道部作品展は8回になります。展示会の趣旨をご理解いただき作品を応募いただけるように学校にお伝えしたいと思っております。昨年度はコロナ感染予防対策のため、会期中で中止となってしまい本当に残念です。コロナ感染予防対策にしっかり取り組み、安心して家族、友人たちと来ていただけるようにしたいと考えております。

委員意見： 入門講座は、これからの皆様を育てていただくのに続けていただきたい。

事務局回答：入門講座とは言いながら、桑原先生・山本先生という一流の先生方にご指導いただける機会はなかなかありません。今年度は広報紙に大きく載せていただいた効果もあり12名の方が受講されます。コロナウイルス感染予防対策のため6月まで中止になりましたが、7月から実施できるように講師の先生方に講座の内容を検討いただいております。また、感染予防対策も確実に行ってまいります。入門講座は書道を学び親しむ大切な事業として続けていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

委員意見：書面による承認の可否を問うのであれば、それなりに資料を詳しく作り直すなり、説明の文章を付すなりしていただきたい。委員が集まって会議を開くのと同じような資料のみを配布するだけで賛否を問われても判断のしようがない。特に事業費の決算書の歳出について、支出項目をもっと詳しく表記していただきたい。

事務局回答：今回の決算書は報告としてお知らせさせていただきました。
事業費の支出項目については詳細に表記できるよう工夫していきたいと考えております。

委員意見：決算書運営事業費の展示物制作委託とは、県立武道館にかかせる扁額を石飛先生に揮毫して頂いたものと思われそうですが、具体的には何に費用がかかったのですか。

事務局回答：展示物制作委託業務につきましては、令和初の臨書展（第8回展）に際し、記念事業として審査委員である石飛博光氏（博光書道会）に書を4作品制作いただき、今年度オープンした県立武道館へ常設展示いただく業務を行っていただきました。

具体的には、4作品の書（扁額）を制作、運搬、県立武道館へ展示いただくまでの業務委託経費です。

委員意見：市民が足を運んでもらえるように、天来「碑めぐり散策コース」等の充実や町ぐるみの憩いの場になる事を願っております。コロナの影響上、係の皆様ご自愛の程尚ご活躍祈念申し上げます。

事務局回答：比田井天来先生が愛されたふるさとの地に、天来先生を誇りに思う方々が力を合わせてつくられた「天来記念館」であることを、日々折につけ実感しております。天来記念館が天来先生、小琴先生、門流の先生方の作品をこんなに間

近に鑑賞できる書道美術館はあまりありません。もっと天来記念館を多くの方に知って頂きたいし、天来記念館が様々な活動を繋ぐ存在となれるように取り組んでいきたいと考えております。これからもご意見いただけますようよろしくお願いたします。お心遣いありがとうございます。

※事務局よりお知らせ（報告）

「2020 忘れられないことば色紙展」について

9年前（平成23年）に募集した上記の色紙展につきまして、8月18日～8月30日の期間、駒の里ふれあいセンター2階会議室で開催いたしますので、協議会委員の皆様におかれましても、ご家族や知人等をお誘いの上、多くのご来場お待ちしております。

また、今回の色紙展につきまして、これまで開催してきたわけですが、以下の理由から開催することが非常に困難であることから、令和2年度を最後とし今後の作品募集は行わないことにいたしました。

事務局では、これに代わる企画も検討していきたいと考えておりますので、委員の皆様のご理解をいただけますようお願い申し上げます。

なお、これに関するご意見等、ありましたらご連絡をお願いいたします。

[開催実施が困難な理由]

- ① 比田井天来に関する作品の寄贈が年々増えている状況であり、収蔵庫へ300作品程の色紙作品を9年間保管することが困難であること。（既に保管場所がありません。）
- ② 9年後（作品展示後）に作品を返却するが、転居等により住所不明で作品が返却できないものが多く保管されている状況であること。